

令和 5 年度 6 月 定例教育委員会会議録

令和 5 年 6 月 20 日 (火)

山梨市教育委員会

令和5年度6月 定例教育委員会 議事録

令和5年6月20日（火）午前10時から、山梨市役所401会議室に召集された。

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 前回議事録の承認
- 4 協議事項
 - (1) 6月議会答弁について
 - (2) その他
- 5 報告事項
- 6 連絡事項
- 7 閉会

○出席者

教育長	嶋崎 修
教育委員	窪田 新治
教育委員	天野 有紀

○欠席者

教育長職務代理者	矢野 眞由美
----------	--------

○事務局職員出席者

学校教育課 課長	磯村 賢一
学校教育担当 指導監	小串 吾郎
学校教育担当 指導主事	志村 貴美子
学校管理担当リーダー	小泉 健一
学校総務担当リーダー	大畠 芽久美
学校総務担当（議事録作成者）	小田切 咲紀
生涯学習課 課長	角田 弘樹
生涯学習担当リーダー	日原 勝巳

4 協議事項の内容

教育長

議事に入る。(1) 6月議会答弁について、事務局から説明をお願いする。

学校教育課 磯村課長 資料1-1に基づき説明

生涯学習課 角田課長 資料1-2に基づき説明

教育長

事務局の説明に対して、委員から意見あるか。

窪田委員

制服選択制について、賛否両論はあるが、多様性を重視する時代なのでより進めてほしい。

生徒指導提要の改訂により県内の高校で校則の見直しを生徒も加わって行った学校があった。中学校の校則見直しについて、市教委としての考え方、取り組み予定はどうか。

磯村課長

答弁の中でも、「子どもたちが主体性をもって」ということは触れている。昨年度、3校の生徒総会で主体性をもって考えてもらいたいと投げかけ、学校では生徒総会で校則のあり方等を生徒自ら検討する姿勢で取り組んでいる。それらをふまえて市教委として検討していく。

教育長

主体性・多様性という大きな柱がたっている。トップダウンではなく、子どもたちから進められるようにしたい。山日新聞に高校野球球児も50%ぐらいは丸刈りでなく自由になっているという記事が載っていたが、主体性・多様性の全体的な流れに沿って行くようにしたい。

管理主事から各学校を訪問した時の話があり、「子どもたちが違うことを違うといえる教育を大事にしたい」「自ら課題を考えるということに力を入れたい」など

3校の中学校の校長先生が言っていたそうだ。いい風が吹いてくればいいと思っている。少数意見なので、「あの子たちは変わってるね。」にならないように、現場の先生方にも応援してほしいと伝えていく。

教職員の勤務実態についての答弁で、具体的な数字を示した方がわかりやすいということであえて数字として出した。委員会を再編成した背景としては、1回の会議が2時間あり、移動を含めて約3時間の会議を5回行う。これにかかわる教員等が14名いるとすると、3時間×5回×14人×9委員会=1,890時間を削減できる。前向きな答弁により議員の皆さんから支持が得られた。

他に委員から意見あるか。

委員

異議なし。

教育長

次に(2)その他、何かあるか。

事務局

なし。

教育長

以上で議事を終了する。

議事終了